

## 鹿島共同再資源化センター株式会社

[法人の概要]

平成20年7月1日現在

代表者名	代表取締役社長 梶原 泰裕(非常勤)	県所管部課	生活環境部廃棄物対策課	
所在地	神栖市東和田21番地3	電話番号	0299-95-1111	
ホームページURL		E-mailアドレス	<a href="mailto:ksrpc0104@kr.c.co.jp">ksrpc0104@kr.c.co.jp</a>	
資本金(基本財産)	3,308,000	千円	設立年月日	平成10年12月1日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	500,000	15.1%
	2	鹿島地方事務組合	500,000	15.1%
	3	日本政策投資銀行	500,000	15.1%
	4	三菱化学(株)	500,000	15.1%
	5	住友金属工業(株)	500,000	15.1%
	その他		808,000	24.4%
設立的	平成4年に茨城県、鹿嶋市、神栖町、波崎町、立地企業12社からなる「鹿島臨海工業地域廃棄物処理システム検討委員会」を設置し、平成6年に指針がとりまとめられた。平成7年3月に設立のための企画書を発行し、平成10年12月に当社が設立された。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	内 容	
事業1	産業・一般廃棄物及びRDFの処理、焼却熱を利用した電気事業	1,094,836	1,258,085	1,319,197	鹿島臨海コンビナート内産業廃棄物の共同処理モデル事業及び自治体ごみの固形燃料の広域処理モデル事業及びダイオキシン対策
	全体事業に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	
事業2					
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
事業3					
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
その他事業	事業1~3以外	0	0	0	
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
全体事業		1,094,836	1,258,085	1,319,197	指定管理者
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

&lt; 鹿島共同再資源化センター株式会社 から県民のみなさまへ &gt;

当社の事業は、国・県が掲げた資源循環型社会の構築に向けた、全国初の広域ゴミ処理システムのモデル事業として大変大きな意義を持っております。地域と企業が一体となったサーマルリサイクルシステムを築き上げ、地域の大気環境保全に大きく貢献しております。

これまで収益面で一時的に寄与してきた汚染土壌処理等の特別処理が平成19年度で終了し、現在は厳しい経営に直面しております。主要株主をメンバーとした「センター経営問題検討委員会」を設置し、将来の事業のあり方や経営の健全化の方策について検討を続けております。

株主様のご支援と当社の自助努力によって、引続き地域住民の方々や企業から信頼されるセンターとなるよう、役員・社員一同力を合わせて努力して参る所存です。

平成21年2月 代表取締役社長 梶原 泰裕

[経営状況] 鹿島共同再資源化センター株式会社

(単位:千円)

区 分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	増減数	増減理由
損益の状況	売上高	1,094,836	1,258,085	1,319,197	61,112	汚染土壌処理ビーク
	売上原価	920,385	1,020,335	1,133,319	112,984	同上
	売上総利益	174,451	237,750	185,878	51,872	
	販売費及び一般管理費	114,184	109,634	105,195	4,439	
	うち役員人件費	52,422	47,678	46,193	1,485	
	うち職員人件費	116,902	118,064	123,250	5,186	職員退職時ラップ期間
	営業利益(損失)	60,267	128,116	80,683	47,433	
	営業外収益	10,389	5,610	18,604	12,994	スクラップ売却益増
	営業外費用	87,604	6,431	5,771	660	
	経常利益(損失)	16,948	127,295	93,516	33,779	
	特別利益	0	0	55,578	55,578	タービン事故保険金
	特別損失	929,815	24,596	44,368	19,772	タービン事故復旧費
	法人税・住民税・事業税	950	950	950	0	
	当期利益(損失)	947,713	101,749	103,776	2,027	
	前期繰越利益	564,125	1,511,838	1,410,089	101,749	
	当期末処分利益	1,511,838	1,410,089	1,306,313	103,776	
利益処分・損失補填額				0		
次期繰越金	1,511,838	1,410,089	1,306,313	103,776		
貸借対照表	資産	3,811,982	3,714,756	3,649,656	65,100	
	流動資産	708,354	737,384	814,055	76,671	現・預金増
	固定資産	3,103,628	2,977,372	2,835,601	141,771	機械装置等減価償却
	繰延資産	0	0	0	0	
	負債	2,015,820	1,816,845	1,647,969	168,876	
	流動負債	335,347	317,615	334,473	16,858	営業未払金増
	うち短期借入金	185,600	185,600	185,600	0	
	固定負債	1,680,473	1,499,230	1,313,496	185,734	長期借入金返済
	うち長期借入金	1,654,000	1,468,400	1,282,800	185,600	
	資本	1,796,162	1,897,911	2,001,687	103,776	
資本金	3,308,000	3,308,000	3,308,000	0		
利益剰余金等	1,511,838	1,410,089	1,306,313	103,776	汚染土壌処理	
県財政関与状況	補助金	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出資金等)	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	
	財政的関与の割合(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.0	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成17年度	平成18年度	平成19年度	増減P	備考
人件費比率	人件費 / 売上高	15.5%	13.2%	12.8%	0.3	
販売管理費比率	販売費・一般管理費 / 売上高	10.4%	8.7%	8.0%	0.7	
自己資本利益率	当期利益 / 自己資本	-52.8%	5.4%	5.2%	0.2	
総資産回転率	売上高 / 総資産	0.3	0.3	0.4	0.0	
売上高経常利益率	経常利益 / 売上高	-1.5%	10.1%	7.1%	3.0	
流動比率	流動資産 / 流動負債	211.2%	232.2%	243.4%	11.2	
借入金比率	借入金残高 / 総資本	48.3%	44.5%	40.2%	4.3	

[組織]

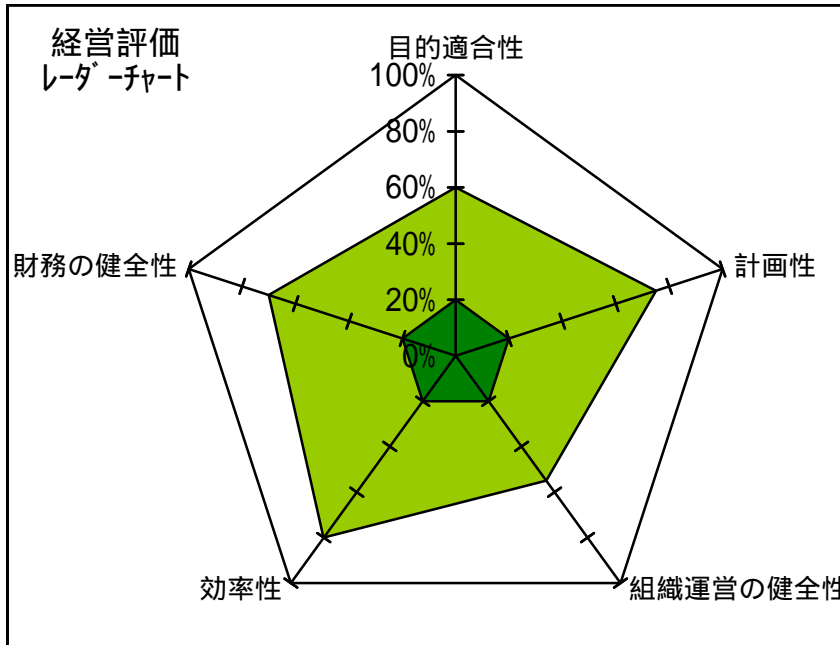
7月1日現在の人数		平成18年		平成19年		平成20年		増減数	増減理由
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB		
役員	常勤理事・監事	6	0	1	6	0	1	6	0
	非常勤理事・監事	9	0	0	9	0	0	9	0
	計	15	0	1	15	0	1	15	0
職員	管理職	6	0	0	6	0	0	6	0
	一般職	7	0	0	7	0	0	7	0
	嘱託・臨時職員等	13	0	0	13	0	0	14	0
	計	26	0	0	26	0	0	26	0
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代	~	合計	平均年齢	プロパー職員平均勤続年数
		3	3	3	17		26	48.9 歳	7.2 年

[ 評点集計 ]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	10	12	20	60.0%
計画性	8	15	20	75.0%
組織運営健全性	9	11	20	55.0%
効率性	10	16	20	80.0%
財務健全性	10	14	20	70.0%
合計	47	68	100	68.0%

警戒指標

--



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[ 法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等） ]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
地域の環境保全を通じて地域社会に貢献するという設立目的に沿った事業活動を継続している。	当社は会社設立時に創業10年で単年度黒字、22年で繰越損失の解消を計画した。15年度で単年度黒字を達成し、18・19年度も黒字を達成している。22年繰越損失解消を少しでも早く達成できるよう中期計画を策定し、経営課題を計画的に達成できるよう取組を進めている。	「内部統制システム構築の基本方針」並びに「企業倫理規定」を制定し、万全を期している。	当社は設立時からの制約条件が多く自助努力の余地はあまりないが、自助可能な課題については逐次解決に繋げている。	昨年度は有機砒素汚染土壌等処理がピークを迎えたこともあり、当期利益は103百万円を超える利益を計上しているが、累積損失は未だ13億円を超える水準にあり、今後繰越損失の早期解消に努めたい。
今後の事業展開の方向	<p>1. 社会の環境意識の高まりの中で、企業及び一般家庭の廃棄物の削減やリユース・リサイクルが一層促進されるなど、当社経営は引続き厳しい状況が続くものと思われる。今後も引続き、取引先の要望に適時・適切に対応するとともに、燃焼技術の向上等による受入可能廃棄物の増加による処理量の拡大を目指すほか、一部低価格に抑制されている処理単価について、関係者との協議を経て適正化を図りたいと考えている。また、当社設立時の事業目的であった蒸気供給について、東部コンビナートで進行中の蒸気供給計画に参画すべく関係者と協議中である。</p> <p>2. 運転方法・焼却技術のますますの向上を図るとともに、焼却灰減水・乾燥装置等操業の合理化に資する設備投資を適宜実施し、灰処理費等の削減を促進していきたい。</p>			

[ 法人担当課の意見 ]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
鹿嶋市、神栖市の一般廃棄物から製造したRDFと鹿島工業地帯の産業廃棄物を混焼し、焼却熱を利用した電気事業を実施している。廃棄物を有効利用する当センターの事業は、設立目的に適合している。	設立時の経営目標である「操業10年で単年度黒字」、「操業22年で繰越欠損の解消」の達成に向け、中期計画を策定し、事業を実施している。	「内部統制システム構築の基本方針」や「企業倫理規定」を制定するなど、会社の業務の適正を確保するための体制を整備している。	職員一人当たりの経常利益は、平成18年度は4,896千円だったが、昨年度は3,597千円となっていることから、売上高の増加及びコスト削減を図っていく必要がある。	平成19年度は、有機ひ素汚染土壌処理の受入により、売上高の増加があり、黒字を達成した。しかし、約13億円の繰越損失があることから、更なる売上高の増加、経費の削減が求められる。
<p>法人担当課の意見</p> <p>事業内容は、当センターの設立目的に合致するとともに、県で推進している「循環型社会の形成」にも適合している。</p> <p>また、神栖市の有機ひ素汚染土壌処理について、地域住民への十分な説明を行ったうえで、H18年12月からH19年12月まで受入を行い、地域社会へ貢献した。</p> <p>一方で、当センターは、約13億円の繰越損失があることから、これを解消するため、売上高の増加及び経費の削減をより一層推進していく必要がある。</p>				

[ 経営目標 ]

区分	指標名	単位	H17実績	H18実績	H19 目標	H19実績	達成度(%)	H20目標値	
経営目標	事業成果	1 処理量	ト	56,543	55,509	53,455	54,705	100.0%	53,214
		2 売上高	百万円	1,094	1,258	1,292	1,319	100.0%	993
	健全性	1 自己資本比率	%						54
		2							
	効率性	1 従業員1人当たり売上高	千円	42,077	48,385	49,692	50,732	100.0%	36,777
		2 従業員1人当たり処理量	ト	2,175	2,135	2,065	2,104	100.0%	1,970
平均目標達成度							100.0%		

[ 総合評価 ]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>平成18年度、19年度は、有機砒素汚染土壌処理事業による売上増により損益が大幅に改善されたところであるが、当該事業の終了もあり、今後は厳しい経営環境が見込まれている。</p> <p>長期的には借入の返済ができなくなる可能性もあることから、安全かつ適切な廃棄物処理を前提に、事業環境に左右されない安定的な経営に努められたい。特に、経費削減等の損益改善の方途を早期に検討する必要がある。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>排出企業の要望に適宜、適切に対応しつつ、受入対象品目の拡大や処理単価の見直しにより、売上高の増加を図るよう指導していく。</p> <p>また、燃焼技術の改善や効率的な運転に努め、灰処分費や各種薬剤費を縮減するなど、より一層の経費の削減を図るよう指導していく。</p>				